

4. 新潟市における安全安心なまちづくり推進方策

4-1 住民力強化のための基本的考え方

新潟市における住民力強化による安全安心なまちづくりモデルを検討するうえで、まずここで対象となる「住民力とは何か」「住民力の強化による安全安心なまちづくりとは何か」といった基本的な概念を以下のように整理した。

(1) 住民力とは何か

住民力とは、何か物事を進めるときの「意志」と「能力」であり、さらには「地域共同体と住民の関係性の中で発揮する力」と捉える。そしてその力を発揮する要素として「郷土愛」がある。

(2) 住民力の強化とは

住民力の強化とは、「信頼の関係性や連帯の関係性を強くすることによって、近隣関係にある住民の自治的な主体性、権能と責任を強くすること」と捉える。

(3) 住民力を強化する意義・必要性とは

豊かな社会資本（ソーシャル・キャピタル）を有する地域づくりのためには住民力は欠かせない。住民力は、自立的な分権型社会の基盤である。

(4) 防災・防犯を軸として住民力を強化する意義・必要性とは

住民力強化は、子育て、介護など住民の日常的な幸せの向上に繋がる多様な地域課題を解決する力となり、これによって、防災、防犯力という非日常的な住民の幸せの根本土台も大きく強化されることとなる。

(5) 「住民力の強化による安全安心なまちづくり」とは何か

住民が、より幸せに暮らすことができる都市装置づくりであり、防災・防犯まちづくりはその都市装置の一つと位置付けられる。このような都市装置は、また、新たなガバナンスが求める「新たな公」の機能である。

4-2 新潟市における安全安心なまちづくりモデル

(1) 住民力強化による安全安心なまちづくりモデルの検討

新潟市における住民力強化による安全安心なまちづくりモデルの構成要素として、以下の6つを設定し、検討した。

- 地域資源の活用
- プラットフォーム*の構築・強化
- 活動の基本単位の設定
- 地域住民による行動計画の作成
- 地域と行政の協働のあり方
- 持続的な活動の仕組み

※ プラットフォーム：コミュニティ活動の活性化・連携を図るためのしくみ

1) 地域資源の活用

- 地域への愛着・誇りが人とひと、人と地域の信頼感・連帯感を醸成することから、古くから伝承されている祭りや昔話、まちなみの再評価などを通じてまちの歴史性・文化性を古くからそこに住んでいる方だけではなく、新たな住民にも伝える取組みを重視する。
- ワークショップ*においても、担い手の不在や場所の確保の問題から地域の運動会が実施できなくなってしまった、といった意見があった。
- その一方、こうした地域の伝統行事を新しい形で復活させようという意見もあり、古くからの住民が発案して、新たな住民が協力しながら新たな伝統行事を創造するなどの取組みが期待される。
- また、安全安心に関する取組みだけでなく、福祉など地域の様々な既存の取組みについて良い点を認識し、それをさらに伸ばすことを重視することや、多様な主体が実施している既存の様々な取組みを抽出し、それらの効果と課題を認識したうえで、複合化・総合化による相乗効果を図るなどの取組みが有効である。

※本調査において市内の3地区においてワークショップ形式の社会実験を実施（p.17参照）

新潟市において、住民と地域が連携してまちづくりを進めている取組み

【地域福祉活動】

新潟市で展開されている地域福祉活動として「地域の茶の間」「まごころヘルプ」「うちの実家」「ごちゃませネット」などがある。

「地域の茶の間」は、民間による活動を原型に新潟市として平成15年度から取り組んできた地域住民の活動である。

また、社会福祉協議会が担い手となって活動を実施している「まごころヘルプ」や「ごちゃませネット」に加え、「うちの実家」のように民間の活動団体が担い手として活動を実施しているものがある。